

T-CEP うめきた2期

Technology Commercialization & Entrepreneurship Program



忽那 憲治

神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科
副研究科長・教授、経営学研究科 教授（兼務）
（株）科学技術アントレプレナーシップ取締役（共同創業者）
（株）イノベーション・アクセルの取締役（共同創業者）



森 勇介

大阪大学大学院工学研究科教授
（株）創晶グループ代表取締役



堤 孝志

ラーニング・アントレプレナーズ・ラボ株式会社
代表取締役



吉野 巖

マイクロ波科学（株）
代表取締役社長 CEO



Daron M Standley

大阪大学 微生物研究所 教授
KOTAI バイオテクノロジーズ
（株）共同創業者



松橋 俊彦

国立研究開発法人 情報通信研究機構
脳情報通信融合研究センター 企画室 マネージャー

T-CEP は、「革新的な知を富に変える」人材を育成するプログラム

1 「イノベーションを起こす前に、人を創る」

2 関西にはテクノロジーという宝の原石が眠っている。グローバルな視点、多様な視点から、原石を発掘し、磨き、精錬し、鍛え、価値を適正に評価し、事業化する。

関西一円の先端技術が見える化し、事業化マインド、スキルをもった人材との反応が起きる場をつくる。

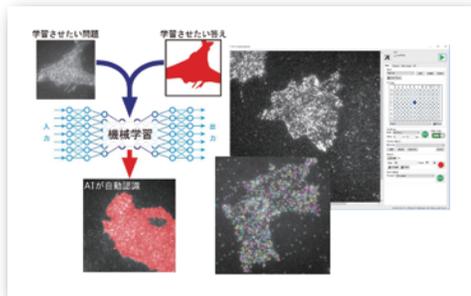
テクノロジーをベースにしたベンチャー企業を興すための「人づくり」プログラム。

起業家だけでなく、企業内新事業開発人材や支援中核人材（例：CFO,CMO など）の育成も含まれます。「ケースとして提供された技術」の市場性を評価し、事業化のフィジビリティスタディーを行うスキルを学びます。その結果、技術を提供して頂いた研究者や企業、参加メンバーの交流が生まれ、チームアップや協業のきっかけとなる可能性もあります。プレシード期の研究成果から、起業初期の事業アクセラレーションを行う副次効果も狙います。

関西は、世界有数の大学・研究機関の集積地。大学発ベンチャー数も関東圏について多く（*）、言わばテクノロジーの宝庫です。テクノロジーは普遍的価値を生みます。テクノロジーこそ「ビジョン」の具現化。「ビジョン」こそ、日本が今最も必要とするものです。「テクノロジー」が見える化し、それを事業化したい人材を発掘し、育成し、テクノロジーと人が反応する仕組みを造ります。

（*）経済産業省「大学発ベンチャー調査」（<https://www.meti.go.jp/press/2019/05/20190508001/20190508001.html>）

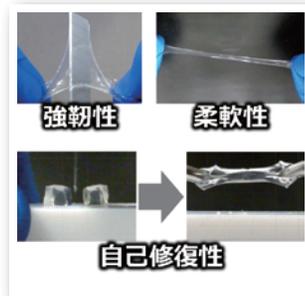
研究機関提供の技術（例）



理研ベンチャー 株式会社 ZIDO



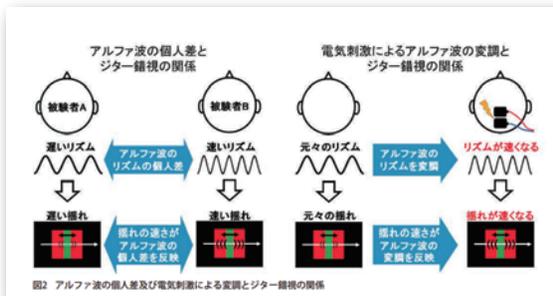
理研ベンチャー 株式会社 JAPAN MOSS FACTORY



大阪大学大学院理学研究科



情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター【技術1】
出典：NICT（情報通信研究機構）



情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター【技術2】
出典：NICT（情報通信研究機構）

募集要項

対象

- ・大学、研究機関の技術シーズの事業化を考えている人材。（研究者、ポスドク、院生など）で、事業化リテラシー不問。
- ・企業の新事業開発担当者（CVC 担当、ベンチャー企業、企業の「シニア経験人材」、「意欲ある若手人材」も含む）

費用

10,000 円 ※懇親会実費に充当します。
尚、研究テーマを持参する人、学生、協力機関推薦人材は無料。

申込み締切

2019年10月14日（月・祝）

参加可否は、志望動機、面談等によって判定させていただきます。予めご了承下さい。
※結果発表は、10月15日までに本人に通知します。

定員

約 20 名

申込み

<https://t-cep.work>



プログラム内容（2部構成）

コース① テクノロジーアセスメント

- ・全般的な技術商業化プロセスの理解、
- ・事業化経験を持つゲストの講義とメンタリング、
- ・起業家マインドを知り、身近に創業者と出会い、テック系の事業化プロセスを俯瞰する入門編

コース② ベンチャー企業立ち上げアセスメント

開催日程

コース①: 10/26(土), 10/27(日), 11/16(土), 11/19(火), 11/29(金),
コース②: 12/14(土), 12/15(日), 1/11(土), 1/24(金), 1/31(金),
(最終発表会): 2/22(土)

※土日集中、平日は夜に開催します。

【主催】うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会
【共催】大阪イノベーションハブ（大阪市）
【企画・運営】Human Hub Japan（プロデュース）、Co-learning（事務局）
【協力】関西経済同友会、大阪府立大学 高度人材育成センター、関西大学 イノベーション創生センター、立命館大学、三井住友銀行、(株)UZABASE、(一社)日本CEO協会、阪急阪神不動産(株)GVH#5、(公益)都市活力研究所 GVH 大阪
【顧問】
神戸大学 忽那 憲治教授（(株)イノベーション・アクセル共同創業者）、
大阪大学 森 勇介教授（(株)創晶グループ代表取締役）
【講師】大学発ベンチャー企業創業者 など
【アドバイザー】テック系事業、業界を知るベンチャーキャピタル、事業者など



うめきた2期みどりとイノベーションの融合拠点形成推進協議会は、以下のメンバーで構成されています。
○代表: 関西経済連合会（専務理事） 副代表: 大阪商工会議所（常務理事） 監事: 大阪府（住宅まちづくり部・理事） 会員: 大阪府（住宅まちづくり部・部長）、大阪市（都市計画局・局長、経済戦略局・局長） 都市再生機構（西日本支社・支社長）、オリックス不動産株式会社（取締役社長） 阪急電鉄株式会社（取締役）、大阪科学技術センター（専務理事） アドバイザー: 関係者、学識経験者等 ○幹事会: 大阪市（うめきた企画担当部長） ○事務局: 大阪科学技術センター（イノベーション推進室）